

# 座礁

7月に起きた長崎県での座礁事故を検証

## 座礁、浸水、 そして沈没の顛末

2010年7月16日の15時過ぎ。場所は長崎県の平戸瀬戸。心地よい4m/sほどの南西からの追い風に乗って、セーリングクルーザー〈ワイルドボア〉は北へ向かっていた。天気は快晴。360度景色が見渡せるほど視界は良好で、2時間後には目的地である平戸港に到着する予定だった。しかし事態は急転、その日の深夜に〈ワイルドボア〉は海中に沈んだ。

レポート＝中島 淳(本誌)  
report by Jun Nakajima (KAZI)  
協力・写真提供＝〈ワイルドボア〉

米田さんたち3人を救出後、海上保安庁の職員が、フネに残された船舶検査証書を取りに行く



海上保安庁の巡視艇に救助された米田庄次さん(63歳)

軽風、快晴、視界良好。  
快適な機帆走中に起きた事故

大阪をホームポートとする全長10.76mの外洋航海仕様のセーリングクルーザー〈ワイルドボア〉(MDS-102改)は、昨年カラ列島や五島列島など、九州西岸をクルージングして回っていた。

スキッパーの米田庄次さん(63歳)は、ヨット歴約20年。2007年には、オーストラリアのメルボルンから日本を目指す「メルボルン／大阪ダブルハンドヨットレース」に参加、約40日かけて完走し、レース後

